

令和 元年 5月 11日

出張報告書

津山市議会議員 岡安 謙典

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 令和 元年 5月 9日 ～ 令和 元年 5月 10日

2. 出張先

東京 明治大学 アカデミーコモン棟 3階

4. 出張内容

日本自治創造学会研究大会

5月9～10日、日本自治創造学会研究大会に参加しました。

新時代到来！～地方自治はどう生き残るか～と題して2日間の研究大会です。

1日目は、①大会挨拶・「自立へのシナリオを語る」と題して穂坂邦夫(日本自治創造学会理事長)の講演 ②講演「真の地方創生と地方自治」片山善博(早稲田大学公共経営大学院教授・元総務大臣) ③事例発表「地域ビジネスを成功させる知恵と実践」竹井智宏(株)MAKOTO代表取締役)・「地方のチャンス～一粒1000円のライチの奇跡～」齋藤潤一(財)こゆ地域づくり推進機構代表理事)・「外国人対策」谷畑英吾(湖南市長)④講演「少子高齢化を乗り切る取り組み」齋藤 健(前農林水産大臣・衆議院議員)終了後、改革発表会・交

流会。

2日目、①講演「SDGsと地域循環共生圏」中井徳太郎(環境省総合環境政策統括官)②講演「日本の課題と可能性」村上由美子(OECD東京センター長)③講演「スポーツが持つ力と地域活性化」④講演「日本が売られる～自治体は最後の砦～」堤 未果(国際ジャーナリスト)⑤パネルディスカッション「新時代到来！～地方はどう生き残るか～」金井利之(東京大学大学院法学政治学研究科教授)・牛山久仁彦(明治大学政治経済学部教授)・土居丈朗(慶應義塾大学経済学部教授)・山下祐介(首都大学東京人文科学研究科教授)・穂坂邦夫(NPO法人地方自治政策研究所理事長)

以上が研究大会の内容です。

改革発表研究大会では、1グループ・4人が、「余暇時間と消費実態と豊かな社会の創造」「ICTと地形模型を活用した地域住民への地域課題の見える化と住民参加型ワークショップの実践」「住民自治組織から生まれた川根柚子協同組合」「住民に身近で信頼される議会を目指して」「市民自らが作る市政」の改革発表がありました。

少子高齢化・人口減少の進む中、地方自治のあり方、津山市の進むべき方向性、取り組みなど、大変参考になった2日間でした。



令和
平成 元年 8月 25日

出張報告書

津山市議会議員 岡安 謙典

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 令和 元年 8月 23日 ～ 令和 元年 8月 24日

2. 出張先

東京 TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター

とっとり・おかやま新橋館

4. 出張内容

「地域福祉政策の実践に向けて」研修会
とっとり・おかやま新橋館視察

公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会 理事長 瀬戸恒彦氏による「地域福祉政策の実践に向けた」研修会に参加しました。

地域包括ケアシステムの着実な実践として、1、取り組み体制の構築 2、課題の把握 3、地域ケア会議の開催 4、住民の積極的な参加について説明。女性と高齢者の活用による生活支援サービスの充実として、高齢者の社会参加と多様な主体による支援サービスの重層的な提供が必要。地域包括支援センターの機能強化、活力ある地域づくりに向けて大切なことでは、行政の縦割りを排除して公民連携の仕組みが大事である。な

ど地域福祉政策の実践に向けての指摘がありました。

24の全国の取り組み事例と神奈川の21世紀福祉ビジョンづくりについての事例紹介がありました。津山市の取り組みに参考になる事例もたくさんあり、今後、津山市での取り組みを提案してまいりたいと思います。

とっとり・おかやま新橋館では、津山の特産品、製造品などを視察。今後、津山の特産品・製造品の更なる出品に力を入れていきたいと思います。

